

2025年度

Peach Women's Business School

第2回

登壇者：ピーチコーポレーション株式会社

代表取締役社長 松田 真理

講演テーマ：「アウェアネス」

2025年度PWBS 第2回アンケート集計結果

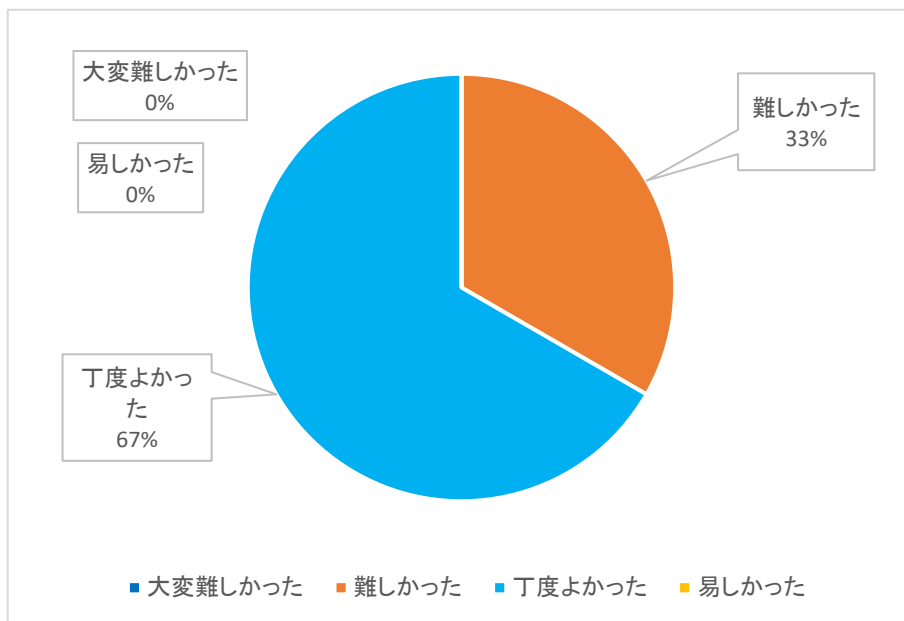
研 修 日：2025年6月12日(木)

登 壇 者：ピーチコーポレーション株式会社 代表取締役社長 松田 真理

講演テーマ：「アウェアネス」

(1) 本日の講義の難易度はいかがでしたか。

【大変難しかった 難しかった 丁度よかった 易しかった】



(2) 上記の理由と本日の研修の感想をお聞かせください。

今の自分に足りていない点が、講義の中で理解できたため。特に下記二点が学びとなり、特に意識していきたいと思った。一点目は"常に問題意識を持つこと"の目指すところとその重要性について。今回、いかに日々の関心が狭い世界に閉じており、世界や日本に対する問題意識が持てていないことを痛感した。「自分はどこを向いているか、どうなりたいかが重要」という言葉が印象に残り、自分の理想は世界情勢や日本の政治経済等について問題意識をもってどうあるべきかについて考えられる人だと改めて認識したので、少しずつ世界情勢にアンテナを張るところから変えていきたい。また、目の前の課題解決にのめり込み視野が狭くなることがあるので、物事を大きく捉えることを意識し、「木を見て森を見れない」人にならないよう気を付けたい。二点目は、自分にショックを与え、その気づきや経験にどう対応するかが重要だということ。成長の連続体STEP3のリーダー像は自信の上司と重なるところがあるので、今後も学ばせてもらいながら自分の至らない点をしっかり振り返って、気づきから逃げない主体性を持ちたい。「物事は上にいる限られた人たちで決められる」「管理職はやってみないと分からない。自分でそのあり方は変えられる」「人に模範を示し感動と励ましを与える人になれる」これらの言葉にもとても考えさせられた。自分がどんな人になりたいかという理想に向かって人間的に成長することはとてもワクワクすることだと思うので、「理想の自分」についてもこの一年で明確にしたいと思った。

気づき・主体性というキーワードに対して、必要なものやアクションを理解しやすい言葉で説明いただいたので丁度良いと感じました。また、価値観を整えるという新しい考えを学ぶことができたのが自分にとって新しい収穫でした。不足していると感じていた主体性を発揮していくために可能なことから取り組み、一連の研修を通してレベルアップしたいと前向きな気持ちになりました。

気づきを得るためには、自発的に考え、能動的に行動することが必要であると考えます。与えられた環境で与えられた物事を与えられたとおりにこなしていく場面では、多少の気づきはあれど、多くの気づきを得ることは難しいことでしょう。今回の意見交換で、各人が「気づきを得たと感じた状況」は、出産や病気、友人との会話等、全てが「誰かにお膳立てしてもらった状況」ではなく、自らで選び対応していった結果として得られた気づきであると思います。仕事や社会で新たに気づきを得るためには、新しい環境や物事に自ら進んで飛び込む勇氣が必要であるという証左だと感じました。

学ぶことが多々あり、すべてを理解して行動に移すには難しく感じたが、自分の仕事や立場に置き換えた時にできることからとりあえずやってみようというのが大事だと思いました。どんな仕事でも経験のために必要なこと捉えることで、モチベーションが保てるような気がします。今回の研修では、同じチームのメンバーと仕事の悩みや考え方などを話す機会が多く、休み時間には雑談もできて楽しかったです。

先生が仰っていることを表面的に理解することは容易ですが、それを自分の行動に落とし込み、本当の意味で体得することは、とても難しいことだと感じました。感想の発表でも触れましたが、まずは知識習得と語感強化のため、良質な本を読むことから始めます。本を読むことにより、興味の範囲が広がり、自ずと知的欲求も湧いてくるものと思っています。

私が今仕事や生き方に対して考えていることそのものだったためです。本日の研修では、私自身日々考えていることを再確認することができました。加えて、今の自分に足りないことを認識することができました。まず一つ目は知識。今までの経験から業務でも意見を述べたり、発案したりすることも増えましたが、話す言葉に説得力がないなと感じていたところでした。購読を辞めてから数年になっていた日経新聞の購読を再開しました。二つ目は態度。天候に左右されず、自分の軸を持ち、目先のことに捉われずに広い視野を持って物事を捉えることの重要性がわかりました。

毎日の取り組み姿勢や心の持ち方など、身近なテーマであるため理解がしやすかったです。「主体的」であるべき、またその重要性はよく言われることですが、具体的に自分自身のアクションにまで落とし込めていることは少ないと考えます。今回の講義を通じて、開講式で松田社長が言われていた「志を高く・視座を高く・視野を広く」ということに対して、自分自身がどう変わる必要があるのかを考えるヒントになりました。また、松田社長がおっしゃっていた「画面は読むというより見る。文字に触れることは五感を鍛えること」というお話がとても心に響きました。私は、学生時代から活字が苦手な本を読むことを特に避けてきました。そのため、会社に入ったころは毎日のように資料を読んだり契約書を読んだりすることが苦痛で仕方ありませんでした。今は仕事以外では、画面で日経新聞を読む程度しか文字に触れていません。まずは、本を読むところから毎日の過ごし方を変えようと思いました。

視座を挙げる、志を高く持つ、主体的に動くということが重要で、具体的にその為に知識、スキル、やる気が必要ということは理解できました。しかし、自分の立場や自分事として落とし込むことが難しかったです。自分の今の状態が分かったという点ではそれも気づきなのかもしれないと思いました。

今後1年間の受講に臨むにあたって、目指す方向性や心がけるべきことなど、改めてマインドセットができる機会になった。講義を通じて、印象的な点は主に2点ある。1つ目は、「問題意識を持つこと」についてである。ディスカッションの際、問題意識と聞いて思い浮かんだのは直近の業務や自身の身の回りの"悩み"についてであり、自身の視座の低さと視野の狭さを痛感した。また、日々の業務においても目の先の業務やタスクに集中してしまい、業務の目的や長期的な視点で達成すべきことを見失ってしまうことは多々あり、それも俯瞰的に問題意識を持つことができていないからだと認識することができた。2つ目は、アウェアネス（気づき）のために必要な主体性を持つことと価値観を整えることについてである。自らの価値観に沿って行動することで、周囲に過度に影響されずにいられる、というのは仕事の面において自身の悩みにも繋がるポイントであり、目指すべき姿勢だと思った。また、気づきのために必要な習慣という視点も自身の生活を振り返ると非常に反省が多くあった。とくに知識の点は真っ先に意識していきたい。現状、日々の忙しさを言い訳になかなかインプットすることが出来ていない。ただ、やはり自分の引き出しがないと、課題に直面したときにとれる行動や手段も限られる。だからこそ、知識・スキル・やる気というサイクルを回し続けることで、自立し、成長していかなければならないと強く共感した。まずは、少しずつ本を読んだり、新聞に目を通すことで、情報をインプットして知識を蓄えるということを習慣化していきたい。

価値観を自ら整えるという発想がなかったため、そのことに「気づく」貴重な研修となりました。価値観を整えるためには、大きな困難に直面した時の反応のしかた、すなわち態度が一番大切だという内容が印象的でした。どうしても楽な方へ逃げたくなる気持ちは簡単には捨てきれませんが、強い気持ちで前向きに考えられるよう、自分の軸をもった主体的な人間になるべく努力していきたいと思います。グループワークでは、自分の考えを明確に伝えることや、意見を短時間でまとめる技量が不足していると実感しました。これらのスキルを高めるための訓練を今後の課題としていきます。

・「あなた」「私」「私たち」のSTEPについて。周囲の言動に当てはめて考えると、イメージし易かった。仕事で信頼を得ている人はまさに「私」であり、更に組織を率いている層は「私たち」として振舞っている。自分自身は「私」を脱却できておらず、「私たち」にstep upする必要があると感じた。

価値観の3要素を養うために培わなければならない知識は膨大で、何から手を付けていいのかわかっています。立ち止まっても始まらないので、アウェアネスの第一歩として、これまで流し読みしていた新聞や、ながら観していたニュースに向き合う態度を改めることからスタートします。自分の存在が会社にとってプラスになるよう前向きに楽しく取り組んでいきます。

今回の研修では、社会や職場における自分のあり方を見つめ直す貴重な機会となりました。講義では男女格差や職場環境の変化に触れられ、自分の目指す先がどこなのかはともかく、日々問題意識を持つことの重要性を再認識しました。特に「気づき」は、知識や経験、日々の意識・態度から生まれるものであり、主体性を持って行動することが成長につながると学びました。自分自身が周囲の環境に影響されやすいという自覚がある中で「どちらか迷ったときは進む方を選ぶ」「常に考え続け、自分の意見を言えるようにする」といった言葉が深く胸に響きました。更に自分の意見を言う際には、言い方、態度、タイミングを考えるとすることは、まさに自分が磨かなければいけないスキルです。この研修を通じて、主体的に生きる姿勢と価値観の整え方を意識し、日々の業務や人との関わりの中で活かしていきたいと強く感じました。

本日のテーマ「気づき」については、非常に多くの事を考えさせられました。最初のグループワークで、自分が課題と感じていることを発表しましたが、先生から「悩みの共感ではなく、大枠で話ができるかが重要」との言葉をいただき、ハッとさせられました。つい目の前の出来事のみフォーカスしがちだった自分に気づき、そうではない自分になるためにはどういった姿勢や考え方が必要なのか、深く考えることとなりました。さらに、先生ご自身が過去を振り返り、「主体的に生きられていないと感じている」と語られていたことには大変驚きました。私を含め、世間から見た先生のイメージはその真逆だからです。しかし、その後に語られたご経験を通して、女性が主体的に生きることの困難さや、その中で先生が歩まれてきた道のりに深い説得力を感じました。今回の講義を通して、気づきを得るための具体的な習慣をご教示いただき、早速その日のうちから実践を始めました。こうした小さな行動の積み重ねが、自身の成長につながっていくと思います。1年後の自分が、どのように成長しているのか、今からとても楽しみです。

アウェアネスの研修を受け、社内で受けた「7つの習慣」に類似した内容もあったため、理解しやすかったです。グループワークでの問題意識について、講師からは世界や国の問題（戦争、飢餓、IRなど）に対する発言を求められましたが、自分の周りのことばかりを話してしまいました。これにより、自分が見ている範囲の狭さに気付かされ、より広い視野を持つこの重要性和、文字に触れることが五感を鍛え、ボキャブラリーや語彙力、言葉の選び方を豊かにするということを実感しました。

【理由】始めのディスカッション発表後、松田先生からのご指摘で視野が狭いことを皆が認識し、その上で、なぜ多角的な視野を持つことが必要なのか・どうすればよいのか・そのためにやること・アドバイスといった流れがとてもわかりやすく納得できた。【感想】講義やディスカッション、他班の発表から多くの気付きと視点を得ることができた。また、自身の知識が不足している部分について再認識できた。講義の中で、一番感銘を受けたのが、“自分の会社が大丈夫とは思ってはいけない・自分の居場所が必ずあるとは限らない”というところで、意気込みに書いた通り“市場価値の高い人材”を目指したいと改めて思った。

ご講義いただき冒頭より自身の視座の低さに通関いたしました。気づきのディスカッション【常に問題意識を持つ力を養う】をテーマに現在の問題について議論しましたが、まずグループ内での一言目は何についてだろう？自身の仕事について？その時点で多角的な視点から考える事が出来ていませんでした。自身がどれだけ視座が低いのか気付く、気づきそのものの議題でした。まずは日々継続し経済情勢等の知識を深め得た情報をどう活かしていくか考え日常に落とし込みしていきたいと思います。又、管理者に必要な主体性を築いていくために必要な価値観、経験・創造・態度について自身の言動を振り返る事が出来ました。管理者にとって必要なものと実感しこれからの自身のキャリアデザインにむけて視座を高くし管理職を担える人材となれるよう常に最新再生し続けていきたいと思っています。

研修を受け、まず問題を大枠で捉える重要性です。業務においては、部分最適ではなく全体最適を意識するようにしていますが、仕事に限らず、あらゆる場面において必要な視点であると再認識しました。また、時事問題を知ること、それが自身の生活や業務に与える影響を考える習慣をつけることの必要性を学びました。これまでは自身の興味関心の範囲で情報収集を行うことが多かったのですが、今後はより幅広い分野に視野を広げ、多角的な情報を積極的に取り入れることで、自身の知見を深めていきたいです。その過程で、情報の取捨選択のスキルも高めたいと思います。さらに本研修で「価値観を整える」という言葉を初めて知りました。教わったステップを実行し、どんな状況でもぶれない軸を持ち、常に前を向いて進む土台を構築したいと思っています。

意識の高さによって気づきの幅や広さが変わってくるということをワークを通じて学ぶ事ができました。悩みと問題意識の違いは今後意識していこうと思いました。また、仕事をする上での女性と男性の違いも知れたので、男性社会に入れる／男性っぽい女性ではなく、女性としての感性ややり方で活躍できるようになればよいと思いました。

アウェアネス（気づき）は、受動的に得られるものではなく、能動的に掴みにいくものだというメッセージが強く伝わる講義でした。特に、自分の視座や立ち位置を高め、より広い視点から物事を捉えることで、気づきの質や量が変わるという内容には、論理的な説得力があり、納得できました。一方で、自分自身がまだ十分にできていないと感じたのは、「夢や目標を持つこと」や「誰にも負けない“好き”を持つこと」です。これらをどう見つけ、育てていけばよいのか、明確な答えが見つからず、難しさを感じました。また、「スキル」や「やる気」を日々の生活の中でどう磨いていけばよいのか、実践レベルでの具体的な取り組みがまだ自分の中で整理しきれていません。頭で理解することと、実際に行動に移すことの間には大きなギャップがあると実感しています。今後は、学んだことを少しずつ自分の中に落とし込みながら、日々の生活の中で実践し、自己成長につなげていきたいと思います。

【上記の理由】講義の中のスライドに基づく内容だけでなく、先生のご経験に即したお話や、グループディスカッションにおける生徒のみなさんのお話の一つひとつからたくさんの「気づき」を得られ、大変有意義な時間を過ごすことができたためです。【研修の感想】視野の広さ・視座の高さについて、意識せずとも常に考え方の根底に据えられるようになりたい、ということを経験の目標として立てたのですが、講義の中での「いつもできるだけ大きな枠で物事を考えよう」というご指摘が、この目標達成のためのヒントとなりました。「大きな枠」というのは視野・視座という抽象的な存在と比較すると具体的で、「大きな枠」を意識することで自然と視野は広がり、視座も上げざるを得ません。常に大きく、大きくを意識するよう心がけることで、回数を重ねるごとに、自然とより広い視野・より高い視座での思考方法が身につくと感じました。今後常に意識していきます。また、「何事も楽しむべし」という内容は、自身が常に意識して生きてきたことでもあったので非常に納得感がありました。ただ、「仕事以外の『好き』を持とう」というご指摘にドキリとさせられました。現在自分の『好き』が仕事になっており、ひたすらに仕事を愛し続けることで楽しく働くことができていたのですが、いつまでもこの場に居続けられるわけではないので（特に今年は人事異動があり、仕事内容自体も変わってしまうので）どのような環境下においても抱き続けられる『好き』を見つけていく必要があると気づかされました。講義全体を通して、本当にたくさんの気づきがあり、そこから考えさせられることや意識していこうと思わされることがたつぷりと詰め込まれた3時間でした。先生の仰っていた通り定期的に見直すための時間を取り、今後の「生き方」すべてに活かしていきたいです。

問題意識についてのグループディスカッションで、自分の視野の狭さにはっとさせられました。自分でも意識しないうちに、話をする相手や状況によっても話題を狭めていることにも気づかされました。講義を通して気づきを得ること、視野を広げることについて意識し続けることの難しさを感じるとともに、この講義をきっかけに考え続けること、学び続けることを意識して継続していきたいと思いました。

年次的に管理職やリーダーといったポジションではなく、また女性のライフイベントも経験していないこともあり、今後どのようにキャリア構築していくべきかと焦りやモヤモヤした気持ちを抱えていました。今回の講義内容では、特に仕事の面において考えるとまだ自分自身の働き方では少しイメージがしづらい部分もありました。「自分の価値観」まだまだ不明確であることを自覚しました。（心理テストや就活の時の自己分析が苦手だったことを思い出しました。）

自分自身を見つめなおすきっかけとして、仕事に限らず私生活においても、好きなことを見つけて極めたり、成功体験を増やして自己肯定感を高めたりなど、身近なところから取り組むことで自分自身の価値観を整えていきたいと考えます

また、今後、環境の変化や困難な場面、様々な価値観に触れる状況におかれた際、価値観に影響を受け変化していくと思います。不安は感じながらも、今回学んだことを活かして柔軟に対応ができ、チームであっても個人であっても最大の成果を出せるような人になりたいと思いました。自分に足りないものはたくさんありますが、向き合いながら「人生日々勉強！」「常に前向きに！」の姿勢で取り組みます。

視座の低さ、視野の狭さを痛感する、まさに気づきの時間でした。研修での知識や経験も今後の自分を形成する要素の一つであり、気づきをいかに自分に取り入れて実行・継続することが重要かを学びました。目先のことばかりを見て、本質を忘れがちになること、判断がつかないとき、何も浮かばないときはまさに自分の問題意識の無さや「何ためにやるのか」といった物事を大枠で見られていないことによるものであることも分かりました。管理職になった年に、まさに気づきを与えていただけたことはチャンスであり、第一歩として、書籍を読むことや、人との交流を通して知識の習得に努めていきます。